

## 『会津さざえ堂』(円通三匠堂)

会津さざえ堂は寛政8年(1796年)に福島県会津若松市の飯森山に建立された二重螺旋構造の木造のお堂で、正式名称を「円通三匠堂」(えんつうさんそうどう)といいます。二重螺旋に沿って西国三十三観音像が安置されており、参拝者はこのお堂をお参りすることで三十三観音参りができる仕組みです。上り下りが一方通行になっており、参拝者がすれ違うことなくお参りができるという特異性が認められ、平成7年には国の重要文化財に指定されています。



株主の  
皆様へ

第54期第2四半期

# 株主通信

2021年 春号

2020年10月1日から  
2021年3月31日まで

【個人投資家の皆様へ】

詳しくはホームページをご覧ください。



ふくしまからはじめよう。



東証JASDAQ上場  
証券コード  
5724

## 株式会社アサカ理研

## Top Message

代表取締役社長 油木田祐策



株主の皆様におかれましては、平素より当社の活動に多大なるご支援、ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

ここに2021年9月期第2四半期における当社の事業概況および今後の見通しについてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化しており、依然として厳しい状況にはありますが、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、企業収益は製造業を中心に持ち直しの動きが続いております。

当社グループにおいては、ステイホームやテレワーク等、ライフスタイルが変化したことに伴い、民生機器関連市場での需要が拡大しておりますが、前期末から継続する新型コロナウイルス感染症の影響による取引先の減産を受けて、貴金属の取扱い数量は前期をやや下回りました。主要製品の内、貴金属の価格は足元では米国長期金利の上昇等により、上昇幅は限定的となっておりますが、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の世界的拡大等の不確定要素により、安全資産としての需要が高まったことで前期を上回る水準となりました。銅の価格は新型コロナウイルス感染症から回復した中国での需要増加に加え、米国新政権の大規模経済対策により、米国経済の回復への期待が高まったことで前期を上回る水準となりました。

このような事業環境の中、当社グループは持続的な成長を果たすべく、事業ポートフォリオの再構築を目的とした経営資源の集中を一段と明確化いたしました。既存事業では新型コロナウイルス感染症により営業活動が制限される中においても、市場回復期においていち早く顧客ニーズに応えることができるよう、取引先とのリレーション強化、独自技術を武器とした新規開拓に注力し、回復していく市場での着実な取引拡大に努めました。新規事業ではリチウムイオン電池（LiB：Lithium-ion Battery）再生事業の研究開発および事業化に注力し、計画通りの2022年1月の量産プラント稼働開始に向けた研究開発活動の最終調整を行うとともに、事業スキーム構築を目的とする事業パートナーとの連携に向けた協議を継続しております。また、安定した原料調達を行うため、大手電池メーカーからの定期的な原料調達を開始しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

# 当第2四半期連結累計期間の概況

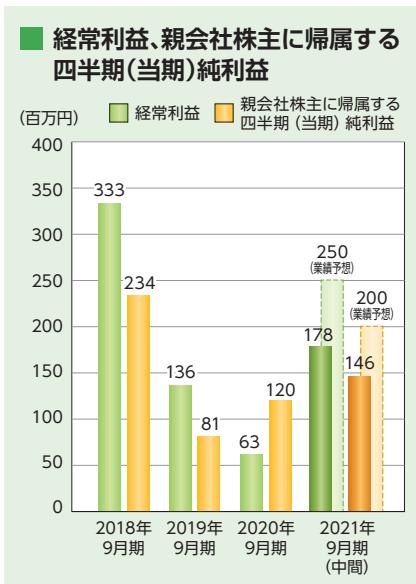
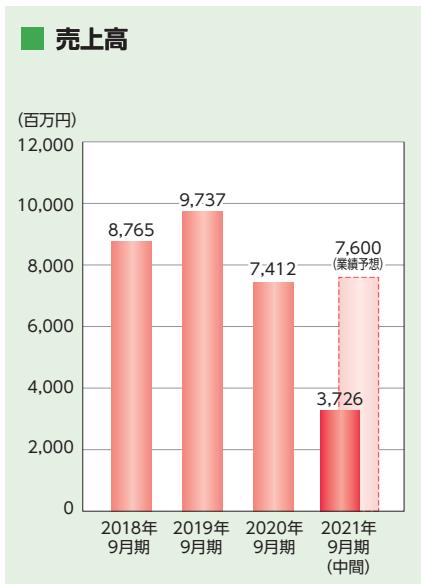
## 【当第2四半期連結累計期間は増収増益】

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高3,726百万円（対前年同四半期1.3%増）、営業利益172百万円（同272.6%増）、経常利益178百万円（同426.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益146百万円（同26.6%増）となりました。売上高は事業戦略の見直しに伴い撤退を決定した海外子会社において減収となったものの、主要製品価格が前期を上回ったことおよび2019年10月に発生した台風19号による水害被害からの復旧が完了したことにより、増収となりました。利益面では事業戦略の見直し実施による利益率の改善が図られたことに加え、台風による水害被害からの復旧が完了したことにより、増益となりました。

## 【業績の見通しについて】

第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、感染症対策としてのステイホームやテレワーク等、ライフスタイルの変化による民生機器関連市場での需要が急拡大したことにより、取引先の生産回復水準が当社の見込みを上回ったことに加え、当社の主力製品である貴金属および銅の価格が予想を上回ったことから、前回公表予想を上回る結果となりました。利益面につきましては、上記要因に加えて、既存事業における設備投資時期の変更や販管費率の見直しを実施したことにより、前回公表予想を上回る結果となりました。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績と今後の動向を踏まえて、売上高7,600百万円（前回公表予想から5.7%増）、経常利益250百万円（前回公表予想から92.3%増）に修正し、2021年5月12日に発表しております。



# 連結財務諸表

## ■ 四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

（単位：百万円）

	当第2四半期末 (2021年3月31日)	前期末 (2020年9月30日)		当第2四半期末 (2021年3月31日)	前期末 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産			流動負債	2,569	2,623
現金および預金	1,682	1,848	固定負債	1,278	1,174
受取手形および売掛金	417	364	<b>負債合計 ②</b>	<b>3,847</b>	<b>3,797</b>
棚卸資産	1,514	1,228	<b>純資産の部</b>		
その他	190	165	株主資本		
固定資産			資本金	504	504
有形固定資産	2,891	2,924	資本剰余金	360	354
無形固定資産	34	39	利益剰余金	2,350	2,242
投資その他の資産	357	340	自己株式	△ 44	△ 48
<b>資産合計 ①</b>	<b>7,087</b>	<b>6,911</b>	その他の包括利益累計額	57	55
			新株予約権	6	1
			非支配株主持分	4	4
			<b>純資産合計</b>	<b>3,240</b>	<b>3,113</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>7,087</b>	<b>6,911</b>

### Point ①

主な要因は、たな卸資産が285百万円、受取手形および売掛金が62百万円増加し、現金および預金が165百万円減少したことです。

### Point ②

主な要因は、借入金が47百万円、借入金地金が34百万円増加し、未払法人税等が10百万円減少したことです。

### Point ③

主な支出要因として、売上債権の増加額が52百万円、たな卸資産の増加額が285百万円、法人税等の支払額が47百万円あり、主な収入要因として、税金等調整前四半期純利益の計上が175百万円、減価償却費が109百万円あったことによるものです。

### Point ④

主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出75百万円です。

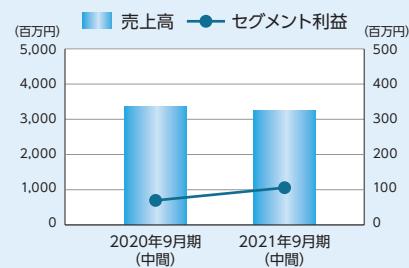
### Point ⑤

主な支出要因として、短期借入金の純減額が32百万円、長期借入金の返済による支出が70百万円、配当金の支払額が37百万円あり、主な収入要因として、長期借入れによる収入が150百万円あったことによるものです。

## 主なセグメントの状況

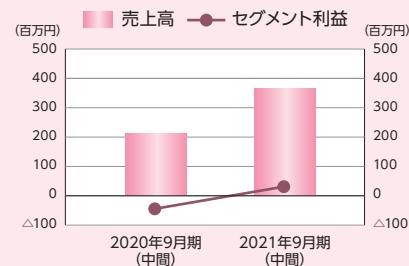
### 貴金属事業

貴金属価格が前期を上回った一方、貴金属の売買を伴わない受託加工取引の割合増加および前期に実施した事業戦略の見直しに伴う海外子会社の撤退により、売上高は3,262百万円（対前年同四半期3.5%減）の減収となりました。セグメント利益は既存事業における利益率改善が図られたことにより、107百万円（同50.2%増）の増益となりました。



### 環境事業

銅の販売価格が前期を上回ったことに加え、台風による水害被害からの復旧が完了したことにより、主力製品である銅ベレットおよび無機薬品の販売数量が増加したことで、売上高は367百万円（同72.8%増）、セグメント利益は33百万円（前年同四半期は44百万円の損失）の増収増益となりました。



### ■ 四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (2020年10月1日～ 2021年3月31日)	前第2四半期 (2019年10月1日～ 2020年3月31日)
売上高	3,726	3,676
売上原価	2,847	2,968
売上総利益	879	708
販売費および一般管理費	706	661
営業利益	172	46
営業外収益合計	36	15
営業外費用合計	30	28
経常利益	178	34
特別利益合計	5	462
特別損失合計	8	343
税金等調整前四半期純利益	175	152
法人税等合計	28	36
四半期純利益	146	115
非支配株主に帰属する 四半期純損失(△)	△ 0	△ 0
親会社株主に帰属する四半期純利益	146	115

### ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (2020年10月1日～ 2021年3月31日)	前第2四半期 (2019年10月1日～ 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ③	△ 75	△ 75
投資活動によるキャッシュ・フロー ④	△ 80	△ 122
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑤	△ 10	266
現金および現金同等物に係る換算差額	0	△ 4
現金および現金同等物の増減額(△は減少)	△ 165	64
現金および現金同等物の期首残高	1,220	620
現金および現金同等物の四半期末残高	1,054	684

## SDGs達成に向けた取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）とは“Sustainable Development Goals”の略であり、2030年までに人類と地球にとって重要な分野での行動を促進し、持続可能でより良い世界を実現するため、すべての国や地域が共同で目指すべき国際目標です。SDGsは17のゴールと169のターゲットから構成されており、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

当社は創業当時から有価金属の回収と再資源化によって、循環型社会の形成に貢献してきており、当社事業は「豊かさを追求しながら、自然環境を守る」というSDGsの考え方にとっても近いものです。

2021年3月9日には当社のSDGs達成へ向けた取り組みが評価され、福島県郡山市が主催する「第2回こおりやまSDGsアワード」を受賞しております。

当社の選考理由は以下の通りです。

「金属リサイクル技術の追求によりSDGsのゴール12（「つくる責任、つかう責任」）に直接貢献している。また、紛争鉱物を取り扱わないことによる地域の平和（ゴール16「平和と公正をすべての人に」）に関連する社会的課題の解決、多様な産業との連携を通じた経済的価値の創出が図られている点も高く評価した。実績とともに自己評価を公表していくことで、ビジネスモデルを発展させ多様な価値を発揮する、SDGs・ESGの時代の模範的な企業活動となっていくことが期待される。」（郡山市持続可能な地域づくり活動推進表彰にかかる懇談会講評より一部要約）

SDGsへの取り組みは、貧困の撲滅、環境保護、経済成長といった「持続可能な社会」の形成に貢献することに繋がります。SDGsの取り組みの結果により良くなった社会は、当社やステークホルダーにとっても良い社会であることは言うまでもありません。SDGsに真摯に取り組むことは、社会の公器として社会的責任を果たし持続可能な社会構築の取り組みに参加するのみならず、新たな事業機会の創出、多様な人材の獲得といった効果も期待でき、当社の企業価値向上を図ることともなります。今後とも積極的に持続可能な社会の実現に向けて一層精進してまいります。



授賞式の様子



左：当社代表取締役社長 油木田 祐策  
右：品川 万里 郡山市長

# Information (2021年3月31日現在)

## 会社概要

商号	株式会社アサカ理研
本社	〒963-0725 福島県郡山市田村町 金屋字マセロ47番地
設立年月日	1969年8月25日
資本金	504,295,600円

## 事業内容

- ①貴金属事業 / 金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精製処理および販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生および販売
- ②環境事業 / 塩化第二鉄液の再生・販売、銅粉の回収、銅ペレットの製造・販売
- ③システム事業 / 自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発および販売
- ④その他の事業 / 工業薬品の運搬、廃液の収集運搬

## 役員

代表取締役会長	山田 慶太
代表取締役社長	油木田祐策
取締役	佐久間良一
取締役執行役員	山田 浩太
取締役	佐久間幸雄
取締役(監査等委員長)	三崎 秀央
取締役(監査等委員)	高野 俊哉
取締役(監査等委員)	遠藤健太郎

(注) 取締役(監査等委員)三崎秀央氏、高野俊哉氏および遠藤健太郎氏は、社外取締役であります。

## 株式の状況

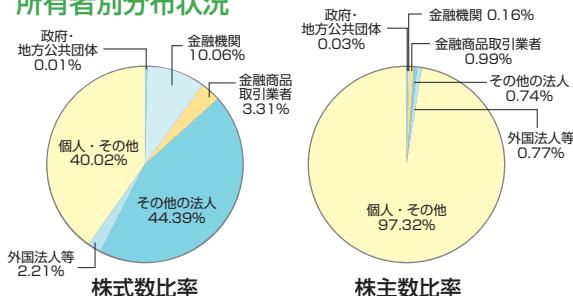
発行可能株式総数	20,400,000株
発行済株式総数	5,144,600株 (自己株式91,750株を含む)
株主数	3,129名

## 大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
有限会社モラル・コーポレーション	2,102,060	41.60
白岩政一	186,200	3.69
株式会社常陽銀行	180,000	3.56
株式会社東邦銀行	162,200	3.21
日本生命保険相互会社	145,000	2.87
東京中小企業投資育成株式会社	100,000	1.98
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	69,198	1.37
アサカ理研社員持株会	53,448	1.06
平田弘美	33,200	0.66
山和証券株式会社	31,700	0.63

(注) 当社は自己株式(91,750株)を保有しておりますが、議決権がないため、上記に含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別分布状況



(注) 上記比率は、当社保有の自己株式(91,750株)を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日	特別口座の 口座管理機関	東京証券代行株式会社
配当金受領 株主確定日	9月30日 なお、中間配当を実施するときは3月31日	同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL:0120-49-7009(通話料無料)
定時株主総会	毎年12月	上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.asaka.co.jp/">https://www.asaka.co.jp/</a> ※ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711(通話料無料) 【郵送先】 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		

### ご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、東京証券代行が口座管理機関となっておりますので、東京証券代行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



## 起き上がり小法師

起き上がり小法師（おきあがりこぼし）とは、400年以上前から続く会津の伝統的な張り子細工人形です。大きさは約3センチほどで、毎年1月10日に会津若松市で開かれる初市などで売られています。転んでもすぐに起き上がるので昔も今も立ち上がる元気をくれる縁起物として人気があります。「小法師」とは、子どもを意味する会津地方の方言です。細い線で描かれた表情がなんともかわいいですね。

福島の旅が丸わかり!!

うつくしま観光プロモーション推進機構（公益財団法人福島県観光物産交流協会 内）  
〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号（コラッセふくしま7階）  
TEL：024-525-4024 FAX：024-525-4087